

木原造林が、4 県の森林から J-クレジットを創出。 J-クレジットとしては同社初のプロジェクト登録が完了。

三重県、和歌山県、岡山県、山口県に保有する約 8,300ha の森林から
バイウィルが手続きを受託・代行し、J-クレジット創出を開始

日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:下村 雄一郎、以下「バイウィル」)は、運営管理業務を受託・代行する J-クレジット創出プロジェクトが、第 62 回 J-クレジット制度認証委員会において登録されたことをお知らせします。

当該プロジェクトは、木原造林株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:中松 裕、以下「木原造林」)が適切な森林管理を行うことによる二酸化炭素の吸収量を、J-クレジットに換えるものです。



【J-クレジット制度とは】

J-クレジット制度とは、省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入等による温室効果ガス排出削減量や、適切な森林管理等による温室効果ガスの吸収量を、日本政府が「J-クレジット」として認証する仕組みです。発行された J-クレジットは、他の企業との間で取引することができ、購入者は自身の温室効果ガス削減目標の達成等に活用が可能です。

【プロジェクトの概要】

今回、J-クレジット創出のプロジェクトとして登録されたのは、木原造林の森林管理による<木原造林株式会社 持続可能な森林経営プロジェクト>です。

「森林管理」とは、森林の中まで光を届けるため、間伐等を継続的に行うことです。森林管理を適切に行うことで、明るくなった森林では二酸化炭素の吸収量が増加します。そして、増加した吸収量は J-クレジットに換えることが可能です。

本プロジェクトでは、木原造林の森林管理によって増加した二酸化炭素吸収量を、バイウィルが手続きを受託・代行して J-クレジットに換えます。その売却による収益はさらなる森林管理・保全の向上のため、施業面積の拡大などに活用されます。

適用方法論	森林経営活動
プロジェクトの名称	木原造林株式会社 持続可能な森林経営プロジェクト
実施地域	三重県、和歌山県、岡山県、山口県
吸収見込量(8 年)	130,792t-CO2

【木原造林の取り組み】

木原造林は、創業 100 年を迎える企業で、林業から公共工事、造園・緑化事業など幅広く営んでいます。林業においては 2 府 20 県に約 18,000ha もの広大な社有林を保有し、植林から素材の生産まで独自の一貫体制をもつことで、森林整備を進めています。

サステナビリティへの取り組みも活発で、土木事業での環境に配慮した施工や、地域行事への貢献などを進めていますが、特に林業を通したカーボンニュートラルへの貢献に力を入れています。J-クレジットの前身制度である J-VER でもクレジット創出に取り組んでおり、2011 年 6 月に認証されてから、これまで 2,000t-CO2 以上のクレジットを創出してきました。

また、環境に対する世の中の動きに応えるべく、持続的な森林管理を推進するために「SGEC 森林認証(*1)」も取得しています。

今回、バイウィルが運営を支援する形で、J-クレジット制度となってからは初めて J-クレジット創出に取り組むこととなりました。このように、取り組みを第三者によって可視化することにより、今後も森林保全を推進します。

*1:SGEC 森林認証とは、日本の森林の自然的・社会的立地に即して持続可能な森林経営を実現するための国際性を持った基準のこと。森林管理に関する環境、社会および経済の分野を網羅している。



木原造林による間伐材の搬出の様子

【木原造林 取締役 山川正浩様 コメント】

木原造林は、森林の育成とその多面的機能の発揮により、新たな森林の価値を創造することで持続可能な森林整備に取り組んでおります。

以前は、J-クレジット制度の前身である J-VER の森林クレジットについて、自社で申請から創出までおこなってきました。今回、三井住友銀行様のご紹介によりバイウィル様と御縁をいただき、昨年 12 月に委託契約を締結し、今回新たなプロジェクトとして登録される運びとなりました。

バイウィル様に申請から販売を委託することにより、弊社は森林管理と施業に専念することができ、シナジー効果を発揮することができたのではないかと考察しております。今後見込まれるこの収益を森林整備に還元すべく、価値ある持続可能な森林整備に取り組んでまいります。

【バイウィルが森林由来の J-クレジット創出代行に取り組む背景】

日本は国土の約 3 分の 2 を森林が占めますが、手入れにかかる費用が賄えず放置されている森林も多く、環境問題に繋がっています。そのため、森林由来の J-クレジットは、カーボンニュートラル実現のためだけでなく、永続的に森林を管理・保全していくための財源確保としても大きな意味を持ちます。

そこでバイウィルは、創出手続きや費用を代行することで森林所有者の負担を最小限にしながら J-クレジットを創出し、流通を促進することで、脱炭素化の推進および森林保全に貢献しようという取り組みを進めています。

【バイウィルが進める J-クレジット創出】

バイウィルは日本各地での J-クレジット創出・流通、ひいては「カーボンクレジットの地産地消」を目指し、全国の金融機関や自治体との提携を進めています。その提携数は 73 件に及び（2024 年 11 月 25 日時点）、全国各地で地域の産業構造や特性に合わせた J-クレジット創出を支援しています。

バイウィルが運営管理(代行含む)する J-クレジット創出プロジェクト

方法論	プロジェクト(運営団体名)	地域	運営者
 太陽光発電	そらいろラボ	全国	バイウィル
 太陽光発電	ちゅうぎんカーボンクレジットクラブ	全国	中国銀行*
 中干し期間延長(農業)	おこめラボ	全国	バイウィル
 バイオマス発電	バイオマス発電および排熱利用による CO2削減活動プロジェクト	熊本県	日奈久バイオマス発電所*
 森林経営	島根県大田市銀の森、未来に繋げるプロジェクト	島根県	大田市森林組合*
 照明設備の導入	環境サステナ支援ネットワーク (病院への LED 照明設備の導入による CO2削減事業)	全国	アルファエネシア*
 森林経営	二和木材「持続可能な森づくり」プロジェクト	岩手県	二和木材*
 照明設備の導入	きらきらボ	全国	バイウィル
 ボイラーの導入	ぼいラボ	全国	バイウィル
 太陽光発電	TOYO e・Club (家庭及び事業所への太陽光発電設備の導入による CO2削減プロジェクト)	全国	東洋ソーラー*
 森林経営	木原造林株式会社 持続可能な森林経営プロジェクト	全国	木原造林*
 森林経営	島根県奥出雲町森林 CO2 吸収プロジェクト ～未来につなげる奥出雲の森づくり～	島根県	奥出雲町(島根県)*
 森林経営	鏡野町森林クレジット創出事業	岡山県	鏡野町(岡山県)*

*はバイウィルが運営管理を受託・代行

提携先から紹介を受けたお客様は 1,450 件に上り、紹介件数、契約件数のいずれにおいても、森林からの J-クレジット創出に関するご相談は半数を超えています。今後、森林クレジットの創出支援はますます増加する見込みです。

バイウィルは J-クレジットをはじめとするカーボンクレジットを軸に、日本のカーボンニュートラル実現に貢献します。

【J-クレジット創出に関するお問い合わせ】

J-クレジット創出に関するご質問や要件のお問い合わせは、以下のフォームより承っております。お問い合わせ項目にて「環境価値創出支援(クレジット創出支援)」についてを選択し、ご連絡ください。

<https://www.bywill.co.jp/contact>

【木原造林 会社概要】

- 社名:木原造林株式会社
- 本店:東京都新宿区市谷砂土原町二丁目 2 番地
- 公式サイト:<https://www.kiharazourin.co.jp/>
- 代表者:代表取締役 中松 裕
- 設立:1924 年 11 月
- 事業内容:林業、土木、建築、リフォーム、造園・緑化、不動産・土地建物

【バイウィル 会社概要】

- 社名:株式会社バイウィル
 - 本社:東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階
 - 公式サイト:<https://www.bywill.co.jp/>
 - 代表者:代表取締役社長 下村 雄一郎
 - 設立:2013 年 11 月
- ※2023 年 4 月より、株式会社フォワードから株式会社バイウィルに社名変更

- 事業内容:
 - ・環境価値創出支援事業(クレジット創出)
 - ・環境価値売買事業(クレジット調達・仲介)
 - ・脱炭素コンサルティング事業
 - ・ブランドコンサルティング事業

■パーパス:

『ずっと愛される日本を。意志の力で。』

常に変わりつづける世界の中、価値は多様化し、正しさも不確実なこの時代。

だからこそ、バイウィルは意志の力を信じ、あらゆるサステナブルな変革を後押しすることで、次世代にも誇れる日本を創ることに貢献します。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社バイウィル 広報担当

e-mail:info@bywill.co.jp

TEL:03-6262-3584(代表)